

情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会  
放送設備安全信頼性検討作業班1及び2（令和元年第2回） 議事概要（案）

1 日時

令和元年9月13日（金） 13時55分～14時57分

2 場所

中央合同庁舎第4号館 共用108会議室

3 議題

- (1) 前回議事概要の確認について
- (2) 放送事業者等における取り組み状況について
- (3) 報告書骨子（案）について
- (4) その他

4 出席者（順不同、敬称略）

【構成員】

作業班1：甲藤主任（早稲田大学）、鶴飼（衛星放送協会）、形山（TBSテレビ）、川島（エフエム東京）、清水（NEC）、仙澤（スカパーJSA T）、高田（日本民間放送連盟）、武居（日立国際電気）、樽見（テレビ東京）、中島（WOWOW）、浜口（NICT）、林（日本テレビ）、藤田（テレビ朝日）、森本（フジテレビ）、矢島（BSAT）、山影（東芝インフラシステムズ）、山本（ニッポン放送）、脇屋（日本コミュニティ放送協会）

作業班2：上園主任（日本ケーブルラボ）、井戸（シンクレイヤ）、尾崎（日本放送協会）、加藤（首都圏ケーブルメディア）、金子（フジクラエンジニアリング）、門馬（ミハル通信）、渡邊（ジュピターテレコム）、川島（パナソニック）、河内（関電工）、中島（日本ケーブルテレビ連盟）

【オブザーバー】岩瀬（住友電気工業）、工藤（ぷらら）、千艘（日本CATV技術協会）、濱中（日本放送協会）、廣瀬（KDDI）、氏原（日本ケーブルテレビ連盟）、鈴木（伸）、鈴木（義）（日本コミュニティ放送協会）

【事務局】塩崎、中野、恩田（放送技術課）、水落、高山、木村（地域放送推進室）

5 配布資料

資料安信作2-1 放送設備安全信頼性検討作業班（令和第1回合同会合）議事概要（案）（事務局）

資料安信作2-2 衛星放送におけるサイバーセキュリティへの取り組み（スカパーJSA T株式会社）（一部構成員限り）

資料安信作2-3 ケーブルテレビにおける放送設備のセキュリティ対策（一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟）

資料安信作2-4 コミュニティ放送のサイバーセキュリティの現況について（一般社団法人日本コミュニティ放送協会）

資料安信作2-5 放送システム委員会 放送設備安全信頼性検討作業班報告 骨子（案）（事務局）

6 議事概要

配布資料の確認の後、議事次第に沿って検討を行った。

(1) 前回議事概要の確認について

前回議事概要について、事務局より資料安信作2-1「放送設備安全信頼性検討作業班（令和第1回合同会合）議事概要（案）（事務局）」に基づき説明が行われ、了承された。

(2) 放送事業者等における取り組み状況について

放送に係る設備の安全・信頼性の対策状況について、スカパーJSA T株式会社、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本コミュニティ放送協会から説明が行われた後、質疑応答があった。主なやりとりは、以下のとおり。

○（スカパーJSA Tからの説明について）

・サイバー攻撃対策の例を示してもらったが、対応者のトレーニング等はどうしているのか。（上園主任）

→社内規定で定めており、日常的な維持管理業務の中で対応者の習熟を図っている。（スカパーJSA T）

・放送設備と電気通信設備の管理規定がそれぞれ設けられている。両者にはどのような違いがあるのか。（事務局）

→適用される法令に沿って、主に制度面での違いを反映させるため、それぞれ、策定している。（スカパーJSA T）

○（日本ケーブルテレビ連盟からの説明について）

・放送と通信、それぞれに対策を行っているとの説明だが、周波数、波長等により、通信と放送は分離されており、放送が攻撃を受けることは基本的にあり得ないという理解でよいか。（甲藤主任）

→そのとおり。ネットワークとして分離されているため、外部からの攻撃はないと考えている。（日本ケーブルテレビ連盟）

○（日本コミュニティ放送協会からの説明について）

質疑応答なし

**(3) 報告書骨子(案)について**

「資料安信作2-5 放送システム委員会 放送設備安全信頼性検討作業班報告 骨子(案)について、事務局より説明が行われた後、質疑応答があった。主なやりとりは、以下のとおり。

- ・報告書は全て公開を前提としているということでしょうか。(甲藤主任)  
→そのとおり。(事務局)

**(4) 閉会**

次回会合について、9月20日午後、作業班1及び2による合同開催を予定している旨、事務局から周知があった。

以上